

シートシャッターに高い防虫性能

高速シートシャッターの生産、販売や上下水道制御、管理システムの開発販売を行っている小松電機産業株式会社（松江市乃木福富町、小松昭夫社長）は17日、高い防虫性能を持つシートシャッター「マジック・オプトロン門番」の発売を発表した。防虫技術などで商品展開をする株式会社大成イーアンドエル（本社・東京都葛飾区、徳倉俊一社長）と総合的な衛生管理を行うイカリ消毒株式会社（本社・東京都新宿区、黒澤敬社長）との3社共同開発となる。

マジック・オプトロン門番を発売



新商品の特徴の一つであるオプトロンシートの高い透過性＝17日、小松電機産業

松江の小松電機産業

小松電機産業は、1980年にシートシャッターを開発。85年には「門番」ブランドとして開発、全国販売を始めた。シートシャッターのシェアは業界トップを誇り、現在までに15万台を販売。高速性能と気密性などが評価され、2012年に「ハッピーゲート門番」システムで第4回ものづくり日本大賞優秀賞を受賞している。

年から発売している高い誘引阻止率（約80%）のオプトロンシートの性能をそのままに、内側に黄色に虫が集まる原理を応用した黄色のシートを施すことにより、虫が中に入ってもシートに虫を誘導し、工場ラインへの虫の侵入を抑制するもの。実証実験では中に入った虫を引き寄せる率は、従来品と比べ1・6倍となっている。さらに、従来のオプトロンシートに比べ約2倍の明るさ（透過性）を実現し、明るい作業空間づくりで省エネと安全性に貢献している。

同社経営企画室の川川中学副室長によるとオプトロンシートの販売実績は約2000台あるが、3年間で1000台の販売を見込んでいるという。既に5社以上のユーザーに試験販売しており、4日から6日にインテックス大阪で行われた「医療機器開発・製造展」においても好評を得ている。川川副室長は「急きよ発売発表をしたのは、高まる市場の衛生管理・防虫ニーズに応えるため」と話した。

大成イーアンドエルの徳倉社長は、「異物混入の多くが虫によるもの。対策は年々進められているが、異物混入の報告は2002年には8700件だったものが、12年には27000件に増えている。それだけ関心が高まっている。今後は、日本での実績をもとに、海外での販売展開をしていきたいと考えている」と話す。